

一般質問

「野口健」 環境学校について



村川四郎 議員

質問

多くの方が期待と関心を持った事業だが、費用対効果や市の対応に不可解な面が多くある。

①事業目的は何か。なぜ野口健なのか。②なぜ観光商工課が担当したのか。③環境保健課と教育委員会の関わりは。④3年計画を今後どう活かすのか。

市長

①野口健氏は、環境自然活動のシンボリック存在で、佐渡が循環型社会を目指すことを、全国に発信するメッセージとして依頼した。

環境保健課長

③市民環境大

学の講師を依頼予定だったが、日程調整できなかった。

教育長

③教育委員会は野口健の環境学校と関連がない。

観光商工課長

④地元NPOとボランティア団体が、運営の予定。

小木こどもセンターとクローバー

質問

小木こどもセンターは、幼保一体化と放課後の学童子育て支援を合体した県内初の施設である。

①利用者の公募方法と定員割れの今後の対策は。②施設の総合責任者は誰か。③施設の視察者の誘客のためホーム

ページで紹介を。④南部の知的障害者通所作業所（クローバー）は、旧保育・幼稚園のどちらへ移設するのか。

市長

①佐渡市全域を対象に募集。市の幼保育園の統廃合計画の中で検討。②小木支所の市民課長が兼任。③IT等で全国へ発信する。④旧小木保育園を改修し、10月初めに移転する。

小木地区の問題から

質問

新市行政の解決への姿勢を問う。

①5年前から通行止めの城山遊歩道の落石箇所と15号台風の災害復旧はどうなる。②

完成5年で破損した工事の検証はしたか。③15号台風で壊れた漁港公園の藤棚・日陰小屋・遊具の改修はいつか。④6年前から工事中の舟下し線の必要性再確認と工事完了は。⑤「ふるさとの森公園」は完成したのか。市の利用管理方法は。⑥魚市場前道路の通行整備を早急に解決すべき。

農水課長

①台風災害箇所は、県の復旧許可は出たが、文化庁の許可待ちである。落石箇所は、県が調査し工法を検討する。②15号の予想以上の波で被災。工事ミスはなかった。

建設課長

④事業開始5年経過し、来年完成予定で地域と観光客に必要な道路と確信する。



移設オープン(10月3日)した南部のクローバー

と思う。③日陰小屋は発注済、藤の木は同所とふるさとの森に移植、遊具は撤去を検討中。⑤工事は終了したが、計画の全ては完成してなく、県は住民と協議して整備を進める。今後はボランティア等で市民の森として活用する。

⑥漁協と協議、魚の荷降ろし場を海側に変更することで合意した。